

## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
所長 若山 隆



### 「新しく始まる胃癌検診制度」

今回は、今年度から只見町で新しく始まる胃癌検診制度についてお話します。

これまで只見町で行う胃癌検診は、検診車で行われるバリウム検査のみでした。バリウム検査では、検診を受けられる日が決まっていたり、バリウムを誤嚥する危険があったり、バリウム検査で引っ掛かると結局は胃カメラ検査を受ける必要があったりという欠点もありました。

今年度以降は、胃カメラでの胃癌検診をうけることもできるようになります。検診対象者は50歳以上で今年偶数歳になる方（2019年3月31日時点で偶数歳）の方です。2年に1回受けられるわけですね。しかしながら対象者でも胃癌検診を受けられない場合もあります。胃の病気で治療中の方（胃薬を処方されている方）、胃の手術を受けたことがある方、重い心臓病がある方（ペースメーカーの方、心筋梗塞をされたことがある方）、血液サラサラ薬を飲んだことがある方は健診で胃カメラを受けられません

（保険診療での胃カメラを医療機関に個別に相談ください）。

胃癌検診を胃カメラで受けたい方は、町から配布される案内と受診券を用意して電話で申し込んでください。胃カメラは南会津郡内の複数の医療機関で受けることができます。朝日診療所でも火曜日もしくは水曜日に胃カメラを行っております。平日13時～15時の間で電話での予約を受け付けます（電話番号：0241-84-2200）。実施期間は2018年6月1日～9月29日の4か月間となっております。6月は予約が混雑する恐れがありますので、少しお待ちいただくこともあります。料金は基本3,000円（追加検査あれば別）となっております。

胃癌検診は大腸癌検診と並んで、検診で死亡者を減らすことができる大事なものです。早期発見・早期治療がなにより重要ですので、この機会にぜひ受けましょう。

## 地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.43

松本 貴芳



### 「傷つけ合いと、許し合いの境界線」

ある日、東京のコンビニでゼリーを買った。ホテルに戻り早速食べようとする、店員さんがスプーンを付け忘れていた。だから私は「うわ、素手で食べるのかよ」と思いイラッとした。

またある日、町内のお店で半額商品を買って帰ったが、家でレシートを見てみたら、半額計算されていなかった。しかし、私は「でもまあ、いっか」と思った。

些細なミスに対する感じ方。この違いは何だろうと考えた。それは、店員さんとの関係に対しての「意識の違い」だと思った。

東京の店員さんは、名前も知らない初対面の人。只見の店員さんは、名前は知らないけど何度か見たことのある人。前者に対しては、赤の他人という別ものの意識。後者に対しては、只見町民という共同体意識があった。名古屋で暮らしていた頃、「名古屋市民」という共同体意識なんて全く無かった。只見町に暮らしてみ、初めて「只見町民」という共同体意識を知った。

「共同体意識があるか、否か？」傷つけ合いと、許し合いの境界線は、そこにあるのかもしれないと、只見町に来て感じました。